

中央公民館だより



第5回 魚沼コシヒカリ紅葉マラソン H28.10.23

総エントリー: 939名

結の場としての公民館に

社会教育委員
生涯学習連絡協議会会長

五十嵐 正巳



○魚沼市の新庁舎建設が決まり、市民によるワークショップが持たれ、より良い庁舎を目指し検討がなされている。この新庁舎は、単に行政機能の充実だけでなく、「結のまちづくり」の拠点としての「場づくり」を目指している。具体的には、市民活動スペース（市民活動ホールや活動ロビー）を設け、日常的に市民が集い、参加する空間を設ける等だ。

しかし、心配になるのが周辺地域の過疎化だ。旧町村の庁舎機能が縮小され、病院は遠くに行った。学校の統廃合の動きもいざれ再浮上するだろう。公的機関の減少により地域の活力がなくなり、過疎化が更に進む心配がある。今後、各地区の公民館は地域社会の核として、新庁舎と同じ考え方が求められる。

学習の場であることはもちろん、地域住民が気軽に訪れ、憩い、活動する「ふれあいの場」である。子どもが遊び、お年寄りが囲んでできる場。さらに、地域の特性を活かした生産・販売活動も考えてみたい。今まで公民館活動に縁のなかった人たちが鍵だ。いろいろな趣味や技術を持った人も多い。他地域や遠方から人々が訪れ、関わり、学ぶ環境であつたらより楽しい。

魚沼市にはどこにも負けない素晴らしい自然や文化がある。雪は天の恵みだ。スキーは新潟県技であり、野山の生物も雪の布団で守られる。その清廉な美しさには心が洗われる。こうした地域の特性を活かした学びや地域づくりを考えたい。以前、長野県の小川村を訪れたことがある。過疎の村を「おやき」で蘇らせた村である。会社の従業員はほとんどが七十歳以上の高齢者だった。高齢者にしかできないこともある。過疎・高齢化を嘆いても仕方ない。みんなで話し合い、考え、私たちがだからできることを模索し、誰もが輝く魚沼市にしたい。

広神のささやかな挑戦

広神公民館長 松田 光正

十月二九、三〇日、広神地域文化祭。広神公民館では、この日に合わせて、ミニ公民館まつりを開催しました。公民館で実施している講座、教室、事業等の報告、紹介と発表の場を作っています。陶芸教室の作品展示や園芸教室の寄せ植え、マジック教室(自主学級)の発表会などを行い、木工教室で飛行機やミニハウスを作り、幼児の発育発達教室も開催してみました。ぬり絵やかかるたを用意し、図書館とも連携し、企画委員の協力をいただき、楽しい、忙しい二日間でした。協力していただいた皆さんに改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

これからの事業として、新年一



木工教室



ぬりえ・マジック発表会

月一四日に、魚沼市百人一首大会とおりますが広神いろはがるた大会があります。今回は、ちょうど小正月に当たりますので、大勢の参加をお願いいたします。



かるた大会・餅つき(昨年度)

ふる里守門岳を登る

守門公民館長 横山 治隆

自然に親しむことはうれしいことです。ましてや、毎日仰ぎ見る地域のシンボルの守門岳を自分の足で登り、山の大きさや木々、草々、そして登山の大変さを肌で直に感じられることはなおさらです。十月に、湯之谷公民館との共催で登ってきました。総勢で三十八名が参加。

所々でナナカマドやモミジの紅葉が始まり、ブナ林の白い木肌や深緑の葉が得も言われぬ輝きを放っていて、目を楽しませてくれました。

しかし、山は大きく、岩や木などを手でつかまなければ登れないような急な岩場や、滑りやすい土の道もあり、決して楽ではありません。だからこそ、頂上での昼飯は格別な味であり、下山最後の頃の「護人清水」の冷たさがうれしかったのです。「生き返った」という声も聞かれました。



それにしても守門岳、1537mは本当に雄大な山でした。眺めても登ってもそう思わせるものがあります。

ガイドリーダーが「この雄大で難儀な山を歩き通したがんばりを誇りにし、また、健康な自分を褒めましょう」と話されました。その通りです。自分の体力や健康度を計る事も出来ました。

来年は尾瀬沼を計画しています。魚沼市の自然に大いに触れたいです。



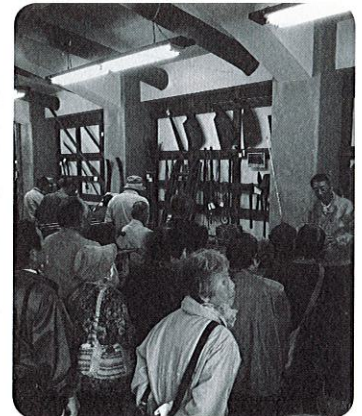
高齢者大学・ 目黒邸訪問

堀之内公民館長 大塚 和子

曇り空の下、第4回高齢者大学移動教室の「目黒邸訪問」を開催しました。目黒邸は、国の重要文化財に指定されている豪農の住宅で、魚沼市内では名を知られており、個々に訪れたことがある方も多いと思います。今回は見学の際に、ボランティアガイドから説明をしていただくことにしました。

約六十名の参加者を二つのグループに分け、目黒邸・民俗文化財館・坂の上の目黒邸資料館を見学しました。

目黒邸は寛政九年（一七九七）完成の割元庄屋屋敷で、冠木門を設ける等、中世の武家屋敷の構えを持っています。屋内は梁や柱が見事な黒光りをしており、囲炉裏には火が焚



かれていました。ガイドから一部屋ごとに説明を受けると、懐かしそうに質問したり、前に自分の家でも使っていた等と話し、感心していました。

民俗文化財館では、皆さんが生活の中で実際に使用した物も多く、ガイドに次々と質問が飛び出し、使ったことのある道具を見つけては楽しそうな笑い声が上がりました。

目黒邸資料館では、国会議員を務めた目黒さんの功績に付いて説明を受けました。参加者の目が輝いたのはフォードと言う車を購入した時に、車のナンバーが県知事の次の2番だったと聞いた時でした。

また資料館では、大島月庵氏が描いた魚沼の暮らしと民具の絵画展が開催されており、民具の使い方を目で見ることができました。

帰りのバスでは説明付きが非常に良かったと話す声が聞こえ、有意義な講座となりました。市内の名所、皆さんも訪れてはいかがでしょうか。

地域で取り込む 案山子まつり

入広瀬公民館長 浅井 健五

今年で第3回目を迎えた案山子まつり。JR只見沿線におもてなしをと、トンネルを出て入広瀬に入り案山子とともにほのほのとした田園風景を味わっていたく：こんな思いを地区有志の方と相談し始めました。当初目標三十体を計画したものの、参加者数、どんな作品が、木の材料はどこからなど雪消えの頃から関係者で頭を悩ませました。地区農家組合、ゲートボール協会、老人クラブなど会合のあるところに向いてのPRや口コミで二四名の参加で「元祖鷹待山麓案山子組」が誕生し八月の終わりから約一ヶ月の展示に。

「最初にしては多く参加されて交流も出来て楽しかった」「脳活性化にやくだつのでは。皆さんのアイデアと製作技術が高いのに驚いた」「今後も学校や親子、他地域の方も呼び込みを」などの意見が多く寄せられました。二年目の時に魚沼市で「只見線に手を振ろう」条例が制定され、今年もまた小学校二年生の子供たち十三人全員でかわいい四体の案山子

が参加。設置終了後には道の駅「いりひろせ」にて訪れるドライバーに交通安全を呼びかけました。



伝えよう地域の宝

湯之谷公民館長

星 義廣

伝統技法の手漉き(てすき)和紙の職人が姿を消す中、近年は書画などの美術和紙として注目されています。それは素材(楮・こうぞ)がもつ風合いによる和のイメージづくり、手作りによる温もりと素材としての強靱さなどが見直されてきたことによるものだと思います。

魚沼の風土が作り出す大沢和紙の技法は後世に残すということにとどまらず、魚沼の特産品として地域おこしにもつなげたいという思いもあつて企画しました。

今回の連続講座は、①座学と工房見学②手漉き体験③和紙を使った作品作りを3回

に分けて楽しく学びました。



手漉きの実践



和紙を使用した作品

銀山の歴史に触れて

地域おこし協力隊

大野 久美子

湯之谷を知る上で、見ておくべき場所を湯之谷公民館長に伺うと、七月九日のふるさと歴史講座「銀山の史跡探検」へお誘いを受け、参加させていただきました。銀山探掘の歴史、奥只見電源開発の歴史、大福銀山十二山神社の移設などのお話を講師の先生より受けてから、実際の銀山探掘跡である間歩(坑道)へ。普段は入ることが出来ない坑道に懐中電灯片手に入り、当時の工夫達が掘った跡を間近に見ることができました。当日は、子供達も参加しており、体験を通して魚沼の貴重な歴史を学ぶことができましたと思います。



間歩入口



坑道内部

私自身も講座に参加したことで貴重な経験ができ、また一つ魚沼の歴史と新たな魅力を知ることができました。

新庁舎建設に寄せて

小出・小出北部公民館長 古田 島 修

十一月七日快晴。久しぶりの好天に恵まれ、初冠雪の越後三山と広場の紅葉のコントラストが際立っている。私は、事務室から望むこの風景がとても気に入っている。四季それぞれに表情がとても美しいからだ。北部公民館前の一帯の広場は新庁舎建設地となり、数年後にはこの風景が事務室からは見られなくなると思うと、ちよつぱり残念な気持ちもする。今、新庁舎建設のワークショップが進め

られている。私もその構成員の一人だが、新庁舎に寄せる皆の期待は大きい。全部を満足することは到底無理は有るにせよ、寄せられた意見は尊重しなければならぬ。魚沼市民が完成する新庁舎に誇りを持ち、行きやすく、使いやすい、そして、訪れた市民がそこで憩える場所になつてもらえれば最高だ。隣接する北部公民館も、その一端を担っていけたらと考えています。



公園から望む小出北部公民館



事務室から望む紅葉と越後三山

公民館とコミュニティ活動

伊米ヶ崎公民館長 森山 喜久男

伊米ヶ崎公民館は、旧伊米ヶ崎村の中心地に位置しているおかげで、隣は小学校、グラウンドを挟んで保育所、公民館はデイサービスセンターが併設されており、生涯学習を進めるにはもってこいの立地条件がそろっています。

公民館地域の事業のなかで、地域区長会の協力もあり、運動会、ソフトバレーボール大会、野球大会、芸能祭等々地域住民に密着した事業を継続して実施しています。



化、人口の減少問題をはじめ一集落では解決出来ないいろいろな問題が山積しています。

住みやすい地域づくり、住んでよかったと言える地域づくりのため伊米ヶ崎区長会では、小学校エリアを一にしたコミュニティを立ち上げるべく準備会を設立しました。今後公民館では、コミュニティ協議会との連携をはかり、より地域に密着した活動が出来るよう努力をして行きたいと思っております。

各公民館職員紹介

公民館は「宝箱」！

湯之谷公民館 仲丸 律子

魚沼に嫁いでウン十年。無我夢中でアツという間でした。子供達に手がからなくなり始めた頃、公民館へ異動となりました。仕事を通し、今更ながら魚沼について、学ぶこととなりました。まだまだ、知らないことばかり。初めて聞く言葉、初めて見る風景、初めての経験などなど、初めてづくしの連続です。忘れていた好奇心が、掻き立てられました。

ステキな魚沼

広神公民館 佐藤 ミカ

昨年4月から広神公民館に勤務させていただいております。私は生まれも育ちも魚沼市内ですが、広神地域ではなく、こちらに来て、この地域の人情にふれ、素敵な地域だなと思います。

先日、何気ない会話で「魚沼市は何もない」と発言。市外の知人が、「魚沼の人って何もないと言うけど、さっき話していたことだって魅力的だよ」と言われ、あたり前

けをいただきました。様々な経験と素敵な出会いも沢山ありました。決して、良いことばかりではないけれど、人に支えられ、人と繋がり、地域を知り、住民を知る。そして、参加者と一緒を楽しむことが出来るこの仕事と魚沼が今は大好きです。

ある機関紙に、「公民館は「宝箱」だ！」との投稿がありました。私も、やっとその「宝箱」に少しづつ気がつき始めたようです。今後、どんな「宝物」が増えるのかな？期待に胸を膨らませ、毎日を笑顔で楽しく過ごしたいです。皆さんも、「宝物」を探しに来てくださいね。

に生活して気付かなかったことが、違う角度から見れば魅力的なんだ、魚沼って素敵じゃないか。と気付かされました。今まで培ってきた先人達の思いや地域を知るとともに、なにげなく見過ごしてしまう地域の良さと新しい学びを、公民館事業を通して伝えていきたいです。



参加者の
声 声 声

ルーシーダットンクラブ
(タイ古式ヨガ)

梅田 佳津子

十年くらい前になると思いますが、「ルーシーダットンって教室が伊米ヶ崎公民館で募集しているよ!」って、お茶飲みしているときに本家の母ちゃんに教えてもらい、教室の時間が平日の午前中だと聞いて、自分の条件に合っていたことが入会したきっかけでした。

入会したときは星野先生でしたが、しばらくして赤ちゃんもできたりして、先生がいなくなつて教室を続けられなくなるのは寂しいなと思つていたら、後任の大桃先生を見つけていただき、大桃先生になつて早いもので3年目になります。

私は、二人の先生の優しい指導もあり、入会して現在まで十年近く続けることができています。教室ではきつ

講師の
声 声 声

だれでも生きている限り
夢を持つことは大切

講師 豊野 美佐子

先日、勤務5年目の看護師さんが、夢のみつめ方がわからないと言つて、夢を発見する講座を受けに来てくれました。

親の勧めで看護師を目指し就職したものの、これから先、何に向かつていけばいいのかわからないというのです。講座を受けて「私にも夢あったんだ」と嬉しそうに帰られました。

同じような若者は増えていきます。まわりに夢を持ち、語り合える仲間がいたら、出会えたら、少しでも夢に近づけたかもしれません。

家庭、学校、職場、地域、社会の中で夢を語り、認め合える雰囲気をつくっていくことは、活性化の第一歩と考えます。本当は皆さん一人ひとりの中に夢はあるので

いことはしないので、無理なく続けられているのかなーと思つています。

教室は、本当に無理なく、個人的にちょうどいい感じで始まつて、最後は爽快な気分で行き、いい気持ちになれます。

週一回の教室ですが、これからも自分の体と気分をリセットすることができるこの教室は、今後も続けて行きたいと思つています。



す。

くすぶつていたり、閉じ込めてたり、気付かなかつたりしているだけなのです。大きいものも夢、小さいことも夢、一人ひとり様々な夢があります。

夢をしっかりと認識して、堂々と語り合い、応援しあいましょう。

私は皆さんの夢を応援しながら、自分の夢をみつめました。歌を歌うことで皆様のお役に立つていこうという夢です。ひとつみつかるとまた次がみつかり、その夢が叶えるためにと考えると毎日とても楽しくワクワクしてきます。

夢は自分の成長と共に変化していきます。変わることをおそれずに多くの皆様と夢を持ち、語り、イキイキと過ごされることを願つております。



だんだん
どーも

冬だ、猫は
コタツで丸くなる

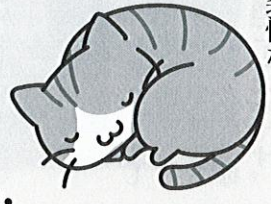
守門地区 桜井 貞夫

最近、朝布団からなかなか起き上がれない。現役時代はその日の予定等を考えながら、忙し紛れに起き、出勤したのだった

また、人間ドックの健康調査では食事内容、運動量等も丁寧に質問される。比較して、間違いなく体の機能は低下している。体の下り坂は早い。

そんな折、守門公民館主催の「健康体操教室」に迷わずに応募した。「エクササイズ」、「ストレッチ」など意味も分からなく、人ごとと思つていたが、参加者二十数名と軽音楽に合わせたの1時間タップリで体が痛くなる。普段使わない所をしっかりとスイッチONにする。これが「エクササイズ」かと思ひ、痛さも我慢だ。

さて、ネコは眠りから覚めると、必ず背スジを伸ばす。大きなアクビもしながらストレッチしている。冬コタツから出た後は身体を動かしたい。



表紙の
目

コシヒカリ紅葉マラソンが盛大に開催されました。朝は肌寒い位でしたが、ランナーには絶好のマラソン日和で上々の結果になりました。賞品のコシヒカリも人気秘密でしょうか?

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 大塚 和子